

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 23-018

PDCA	事務事業名	部課等名	建設部土木課	建設担当	担当	鶴飼	
					内線等	437	
<b>P</b> 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節： 第2節 都市基盤の整備 基本施策： 5. 治水・排水対策 単位施策： (1) 河川・ため池の能力強化 個別施策： ②洪水調整施設の拡充					
	根拠法令等	-					
	対象・目的	浜池堤体の安全確保					
	目的を達成するための手段・活動内容	浜池堤体の安全性を確保するため、補強や遮水処理等の改修を実施する。					
<b>D</b> 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①実施設計			1	箇所	
		②堤体改修工事			0	箇所	
		事業費			4,471	千円	
		人件費			1,059	千円	
		総事業費			5,530	千円	
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	①実施設計1箇所当たりのコスト			5,530	千円		
	②堤体改修工事1箇所当たりのコスト			0	千円		
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①事業進捗率	実績値			8.0	%
			目標値			8.0	
		実績値					
		目標値					
		実績値					
	目標値						
<b>C</b> 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	-
	事業の評価・課題	<b>B</b> 堤体の安全性を向上させるため、詳細設計において補強対策等を検討し、次年度の整備に反映させることができた。この詳細設計に基づき、令和2年度に堤体の改修工事を完了する予定である。					
	<b>A</b> 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<b>改善推進</b> 令和2年度に堤体の改修を完了することから、今後は降雨などによる被害を軽減させるため、池の水位調整を適切に行っていく。				
		令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位		
			①事業進捗率	100	%		